



### ◎幹事會

六月五日幹事會開催田中幹事外六幹事會合し昭和十四年度事務報告及會計報告、同年度基本財産收支決算同特別積立金收支決算、財産目録、昭和十四年度一般會計收支剩餘金處分、昭和十五年度一般特別兩會計歳入歳出豫算、並道路法施行二十周年紀念專業等に就き協議を遂げた。

### ◎重要道路整備調査事務打合會出席者懇談會

日滿支交通上國內重要道路整備調査の喫緊事なることは客年九月内閣總理大臣内務大藏兩大臣並企畫院總裁に建議

したるが幸に昭和十五年度豫算中に該專業費が計上せられたので六月十八、十九兩日內務省に於ては各土木出張所當局者を招致し重要道路整備調査事務打合會を開催せられた、仍て本會に於ては同會合に出席せられたる各員を翌十九日夕日比谷山水樓に招待し懇談會を催した。尙二十日には內務省會議室で獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局より借り受けられた「獨逸を驅る高速度道路」、「愉しき自道車道路」と題する映畫を三時間餘に亙り觀覽して、調査上不尠裨益を與へられた。

### ◎綜合港灣關門港

門司港のみが開港場として取扱はれ下關、小倉、田野浦の三港は夫れに包含せられなかつたか今回綜合港灣として門司外三港を一體化し一開港場とすべく東西二十キロ港域五千六百萬平方米の改良を計畫し綜合港と爲し名稱をも關門港と改稱することとなつた。

## ◎大藏省外九官衙の燒失

六月二十日大雷雨帝都を襲ひ落雷の爲め神田橋内に在る逓信省航空局、東京營林局、東京稅務監督局、企畫院、神田橋稅務署、厚生省の一部、保險院、大藏省、對滿事務局中央氣象臺本館が燒失した。

## ◎港灣協會總會

第十三回港灣協會が、來るべき日本海時代に雄飛せんと志す港灣秋田で開催せられた。會する者約千餘名、第一日は六月十四日、秋田高等女學校講堂で開かれ、水野會長は皇軍將兵に對し感謝の意を表し、銃後國民は時艱克服の決意を強固すへきを強調して、更に進んで「我國々運の隆昌に伴つて港灣の充實改善の計畫は着々進められて居るが、我協會は國運の發展の爲に茲に力を盡すべきで、各員はよろしく協力せられんことを希望す」と挨拶し、兒玉內務大臣の祝辭は成田土木局長に依り代讀、逓信大臣の祝辭、鐵道

大臣祝辭が朗讀せられ、福岡縣知事其他の祝辭があつて百七十の議案が討議せられた。第二日は船川津港を視察した。

## ◎府縣土木部課長事務打合せ

來る七月十二、三日の兩日内務省に於て開催せらるることとなつた。

## ◎内務省土木試験所談話會

第二百三回技術談話會話題

時日 昭和十五年五月三十一日(金) 午後一時半——四

時半

場所 本郷區駒込上富士前町二六內務省土木試験所講堂

一、アスファルト乳劑の分解に就て (二十分) 山田技手

二、振動中の岸壁に作用する土壓の分布 (二十分) 松尾

技師

三、各種セメントの種類とその有害水に對する化學抵抗性

の比較 (四十分) 福島囑託

四、内水航路が一國の全般的運輸網に於て占める役割に就て(ドイツ、オランダ、ベルギー、ハンガリー、チエツコ)(五十分) 横田技師

五、米國に於ける洪水調節資料に關する調査會に於て發表せる報告の經過(三十分) 伊藤(剛)技師

六、北支の地狀並に土木工作より見たる黃土の工學的性質に關する洞察(三十分) 星埜技師 以上

第二百四回技術談話會話題

時日 昭和十五年六月十四日(金) 午後一時半—四時

場所 本郷區駒込上富士前町二六内務省土木試驗所講堂

一、橋梁固有振動の近似解法に就て(三十分) 村上永一

二、コンクリートの配合查照方法としての生コンクリート

洗ひ分析試験方法案の作製に於て(三十分) 一木保夫

三、組合壓縮材の挫屈に及ぼす剪斷力の影響に就て(速報

二二號)(三十分) 横田技師

四、木材割裂試験片の形狀の強度に及ぼす影響並に之に基

く割裂試験標準方法に就て(二十分) 青木技師

五、昨年三月發布ドイツに於ける「技術應急團」の組織並

に本年一月十八日發布の規則(一〇分) 藤井所長

六、鴨綠江水豐堰堤の最近の進捗と洛東江支川南江放水路

工事を見て(三十分) 山本弘之 以上

◎徳川家達公

貴族院議員、元貴族院議長正二位勳一等公爵徳川家達氏  
は一昨年五月ロンドンに行はれる萬國赤十字社總會に出席  
の途中カナダに於て過勞から心臟を病み七月三日歸國以來  
澁谷區千駄ヶ谷一ノ三三〇の自邸に引籠り日赤病院青柳博  
士の手當を受けてゐたが去る三日夜八時頃急性肺炎を併發  
し五日午前零時四分遂に薨去した、享年七十八。

◎鈴木喜三郎氏 前政友會總裁鈴木喜三郎氏は六月二

十四日夜逝去、享年七十四。

◎井深梶之助氏 明治學院名譽總理井深梶之助氏は六

月二十四日死去、享年八十七。

○近刊圖書雜誌

- 都市問題 (第三〇卷六號)
- 電氣通信學會雜誌 (第二〇六號)
- 警察協會雜誌 (六月號)
- 石油時報 (六月號)
- 觀光聯盟情報 (創立十周年記念號)
- 三田學會雜誌 (五月號)
- 稻工會誌 (第三一號)
- 清和 (第七卷四五號)
- 土木學會誌 (第二六卷五號)
- 鐵道軌道經營資料 (五月號)
- 乘合自動車 (五月號)
- 都市公論 (五月號)
- 東大陸 (六月號)
- 國立公園 (五・六月號)
- 企畫 (第三卷三號)

雜報

- 建設 (四月號)
- 土木工業 (第二卷五號)「近代式道路の設計(米國)、紐育の河底道路隧道(米國)」
- 技術評論 (六月號)
- 水利と土木 (第一三卷六號)
- 自警 (六月號)
- 竣工 (第一六卷四號)
- 紀元二千六百年 (六月號)
- セメント界彙報 (第三八七號)
- セメント・コンクリートに關する文獻題目録 (日本ポルトランドセメント同業會刊行)
- 法律時報 (第二〇卷六號)
- 港灣 (第一八卷六號)「秋田縣號」
- 地方行政 (日文版第四卷四號、滿文版第四卷三號)
- 土木建築 (六月號)
- 道路 (六月號)「道路鋪裝に於ける最近の新傾向並に之が實施試験に就て」
- 汎交通 (六月號)
- 大阪商工會議所月報 (第三九七號)
- 都市公論 (六月號)